

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年5月12日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第17週 2016年 4月 25日 ~

2016年 5月 1日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	8	1	1	1	7	3	3	6	11	41				3	2	2	2	4	4	1	2	5	2	1	3	3	5	2	1	

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	1						1		1	3	1	1			1									
咽頭結膜熱	2			1			2	9	2	16		1	6	4	1	1	1			1		1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	6	6			2		7	25	52			1	1	6	3	6	9	4	7	3	10		2
感染性胃腸炎	7	15	21	6	39	7	43	70	10	218	2	7	36	24	25	27	11	19	14	15	5	18	1	14
水痘				2		1	1	2		6					1		3		1	1				
手足口病																								
伝染性紅斑			1	1	6		1	3		12		1				3	3	1	1		1	1		1
突発性発疹	1	1	1	1	1		3	3	3	14		5	6	2			1							
百日咳																								
ヘルパンギーナ	2									2					1						1			
流行性耳下腺炎	1	1			5		1	3	1	12			1		2	2	3	2		1		1		

今週、レジオネラ症の報告がありました。肺炎を主徴とし、有効な抗菌薬治療がなされない呼吸困難や意識障害等重篤化し死に至ることがあります。高齢者や基礎疾患を有するなど免疫力が低下している場合は発症リスクが高まります。レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（霧状の水滴）を吸い込むことで感染します。本菌は土壌細菌であり自然界に広く存在しヒトの生活環境でも冷却塔水、給水給湯系、浴槽及びその関係設備に定着し感染源となります。定期的な浴槽水の換水や、配管を含めた循環ろ過装置の洗浄が必要です。気泡風呂や打たせ湯などはエアロゾルを発生するため特に浴槽水の管理に注意が必要です。

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎									1	1															1				
流行性角結膜炎								1		1															1				

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○アデノウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6101）
東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例：0～4歳男（6101）
東灘区○ロタウイルス感染症1例：0～4歳男（6102）
北 区○アデノウイルス感染症1例：5～9歳男（6505）
北 区○ロタウイルス感染症1例：0～4歳女（6505）
北 区○アデノウイルス感染症1例：0～4歳女（6505）
須磨区○アデノウイルス感染症：件数不明、年齢・性別不詳（6101）

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

第17週の市内インフルエンザ定点あたり患者数は0.9で、
流行基準となる1を下回りました。
今シーズンの流行はほぼ終息したと思われます。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

[（トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向）](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年5月12日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第18週 2016年 5月 2日 ~

2016年 5月 8日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	
インフルエンザ	5						1	4	5	15		1				2	1	1	1			4		3	1	3					

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	1				1		1	1		4	3		1											
咽頭結膜熱	1					1	1	10	2	15		4	1	3		1			3			3		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2		1	3	3	4	3	20	38		1	2	2	5	2	4	6		2	2	9		3
感染性胃腸炎		2	8	5	34	2	16	50	14	131	2	13	37	12	14	9	8	3	4	7	1	9	1	11
水痘	1	1			2	1		6	1	12		1		3	1	2	1	3	1					
手足口病							1			1							1							
伝染性紅斑	1				2	1		2		6		1	2				1	1		1				
突発性発疹	2		1	1	2		4		1	11		5	5	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ																								
流行性耳下腺炎	1		1		13		2	5	13	35					2	4	10	4	2	6	2	5		

今週、侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例ありました。平成28年の報告は25例となり、例年の同時期と比べてかなり多くなっています。通常の肺炎にとどまらず髄膜炎や敗血症など重症化した場合に報告され、患者は小児及び高齢者が中心となっています。感染予防には予防接種が有効です。肺炎は日本の死亡原因の第3位となっていますが、細菌によって生じる肺炎のうち、1/4～1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。予防接種により肺炎及びその重症化を予防することができます。小児及び高齢者の方が定期接種の対象ですが、ご自身が対象であるかどうかは市ホームページ等でご確認ください。

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎						1		1	1	3							1										1	1	

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

中央区〇ロタウイルス感染症1例:5～9歳男(6301)
中央区〇アデノウイルス感染症2例:0～4歳女(6301)
北 区〇アデノウイルス感染症1例:0～4歳女(6505)
北 区〇ロタウイルス感染症1例:0～4歳男(6505)
北 区〇マイコプラズマ感染症:年齢・性別不詳(6505)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症1人)です。

【市内の感染症の状況】

第18週の流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告は、例年の同時期よりも多くなっています。髄膜炎や難聴など重症化することがあり、予防接種が有効です。1歳以上で接種することができます(任意接種)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年5月12日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2016年4月16日	2016年4月18日	2016年4月18日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、肺炎 意識障害	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 E型肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年3月14日	2016年4月11日	2016年5月2日	/	血清IgA抗体の検出	発熱、 全身倦怠感、 肝機能異常	経口感染	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年4月25日	2016年4月26日	2016年4月28日	/	血液培養法	発熱、肺炎 菌血症	不明	ワクチン接種歴 不明
男	20代	2016年4月20日	2016年4月22日	2016年4月23日	/	血液培養法	発熱、腹痛 菌血症	保菌状態からの 感染	ワクチン接種歴 無し
男	60代	2016年4月20日	2016年4月22日	2016年4月25日	/	血液培養法 その他検査 (関節液培養)	咳、関節節痛 咽頭痛、菌血 症	保菌状態からの 感染	ワクチン接種歴 無し
男	50代	2016年4月18日	2016年4月18日	2016年4月26日	/	血液培養法	発熱、咳 全身倦怠感 肺炎、菌血症	不明	ワクチン接種歴 不明

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2016年4月20日	2016年4月20日	2016年4月25日	/	血液培養法 薬剤耐性確認	敗血症 胆管炎	以前からの保菌	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年4月頃	2016年4月27日	2016年5月2日	/	血液培養法	肺炎、菌血症	不明	ワクチン接種歴 不明

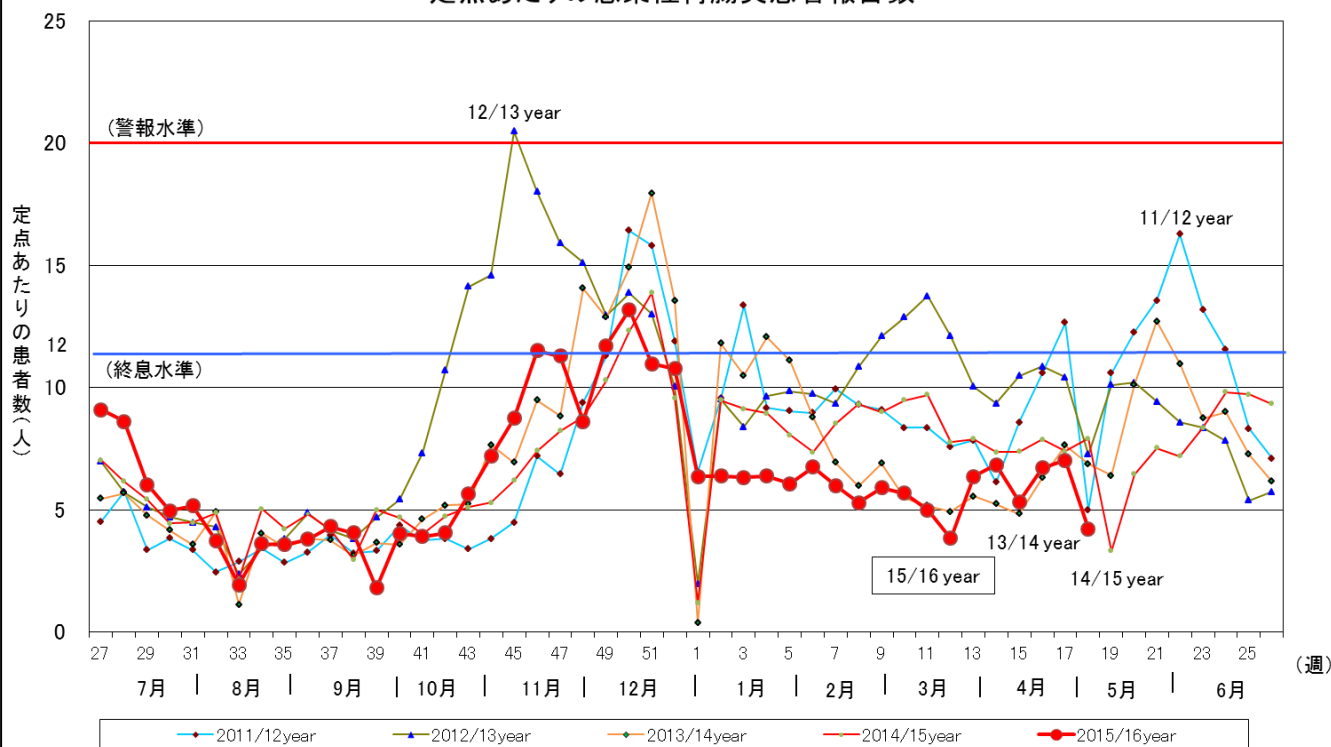
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年3月頃	2016年4月28日	2016年5月6日	AIDS	PA法 Western Blot法	単純ヘルペス ウイルス感染症	同性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ムンプスウイルス	唾液	北	5歳1ヶ月男児(4/18採取、39.5℃)、家族内発生
	唾液	北	5歳3ヶ月男児(4/22採取、37.8℃)、通っている保育園で複数の患者発生あり
	唾液	東灘	5歳11ヶ月男児(4/25採取、発熱なし)
A型インフルエンザウイルス (A/H1pdm09)	鼻腔拭い液	垂水	79歳男性(4/18採取、38.0℃、インフルエンザワクチン接種済み)
A型インフルエンザウイルス (A/H3)	鼻腔拭い液	東灘	6歳8ヶ月女児(4/11採取、39℃、インフルエンザワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	東灘	8歳男児(4/12採取、38.6℃、インフルエンザワクチン接種歴不明)
	鼻腔拭い液	灘	11歳女児(4/14採取、39.0℃、インフルエンザワクチン接種済み)
B型インフルエンザウイルス (山形系統)	鼻腔拭い液	須磨	51歳女性(4/18採取、38℃、インフルエンザワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	須磨	79歳男性(4/18採取、発熱なし、インフルンザワクチン未接種)、家族内発生
B型インフルエンザウイルス (ビクトリア系統)	鼻腔拭い液	中央	5歳6ヶ月女児(4/20採取、38℃、インフルンザワクチン未接種)
C型インフルエンザウイルス	鼻腔拭い液	須磨	64歳男性(4/19採取、発熱なし、臨床診断でインフルエンザ疑い)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



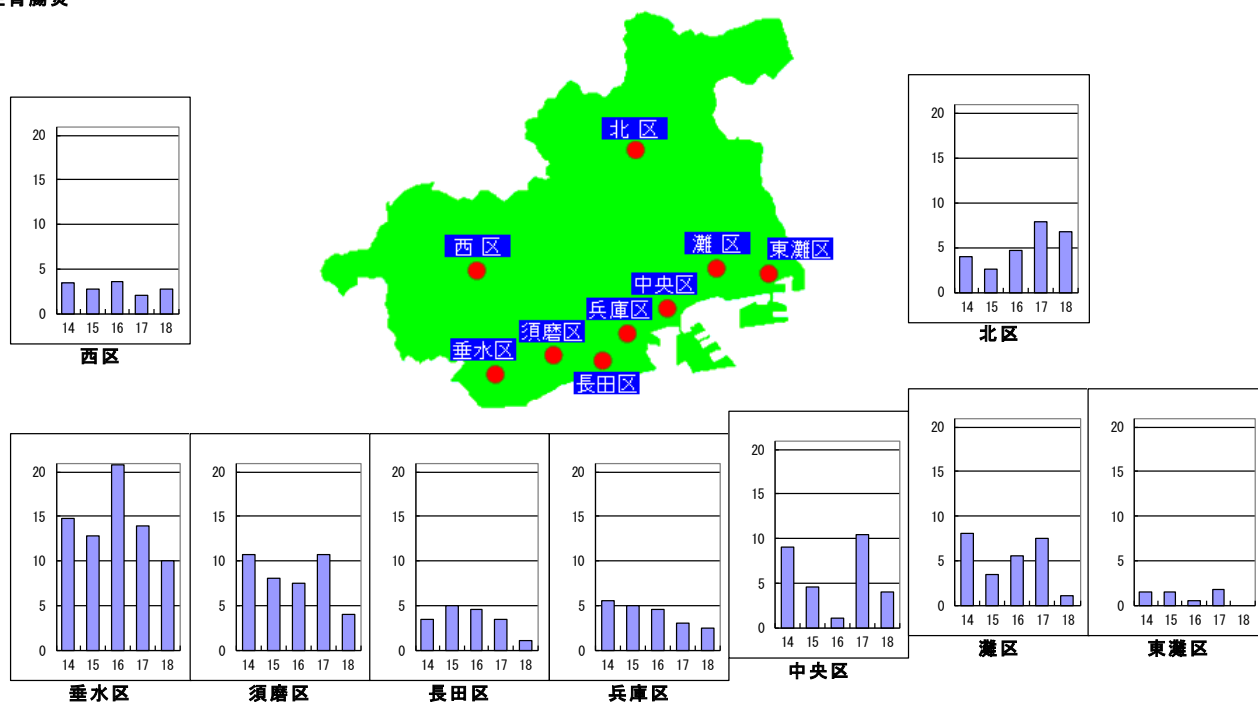
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 14 週 平成28年4月4日

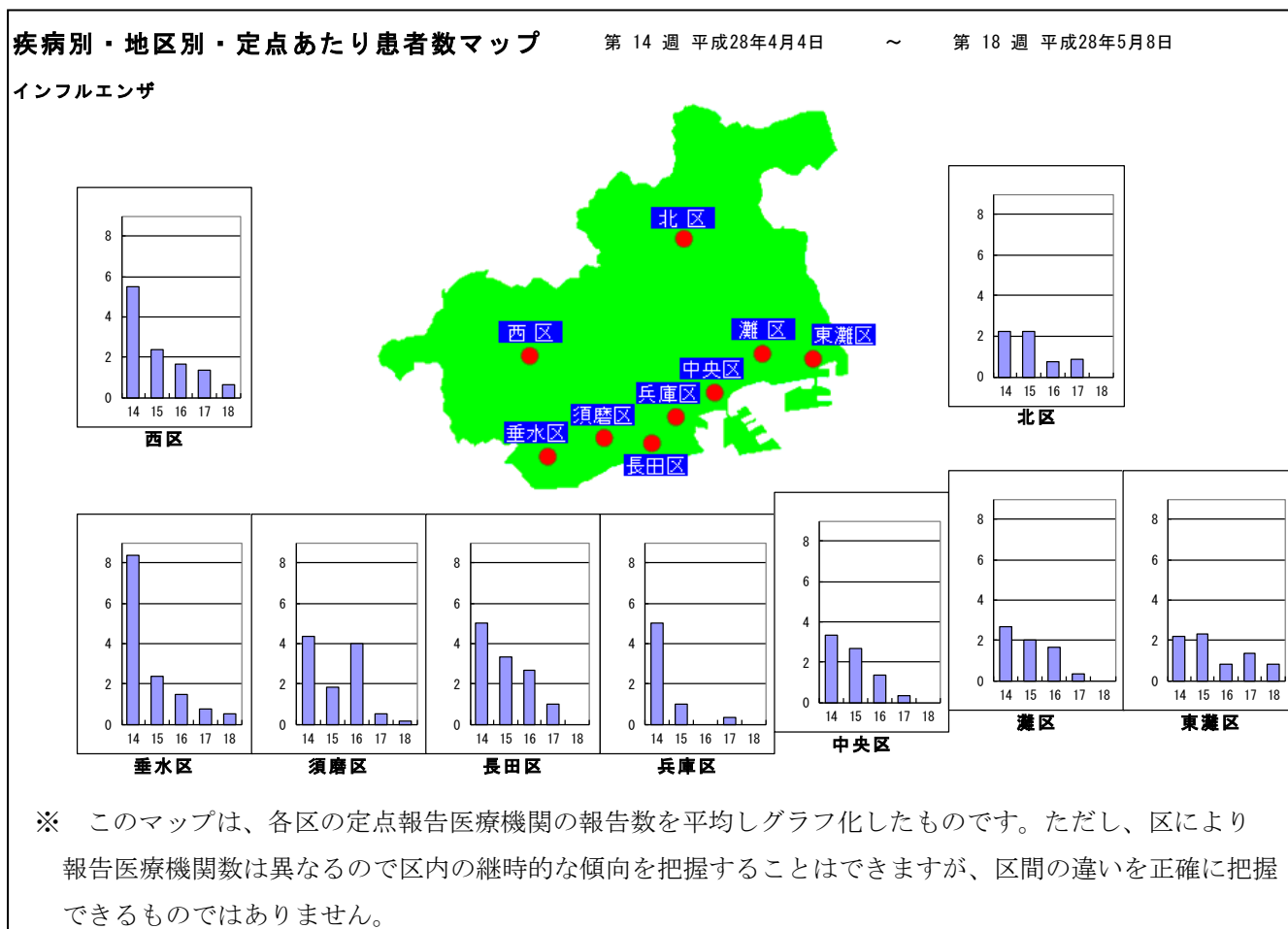
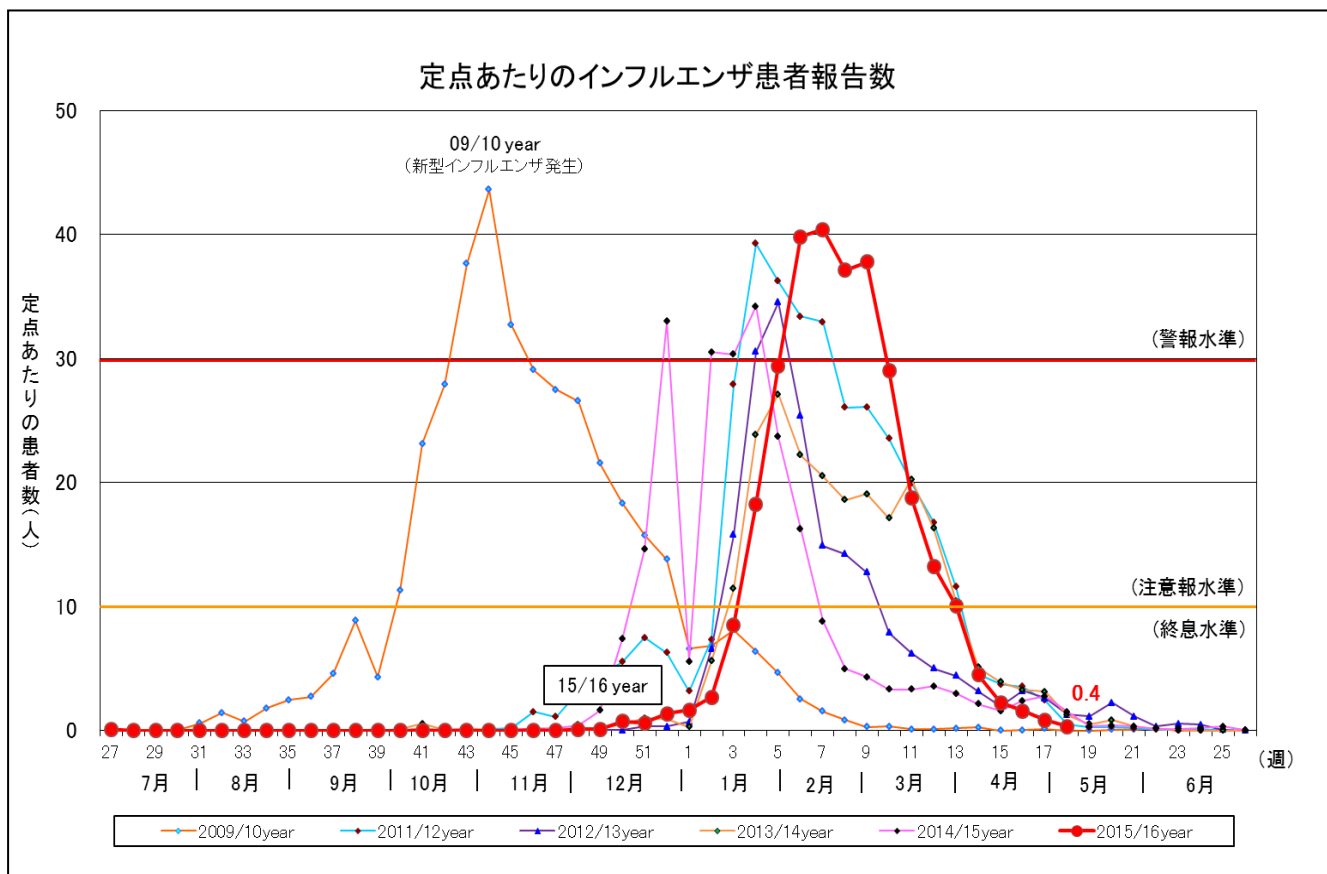
～

第 18 週 平成28年5月8日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

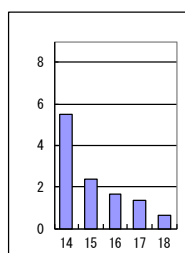


第 14 週 平成28年4月4日

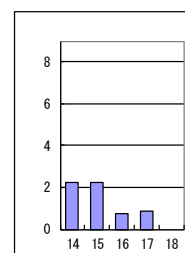
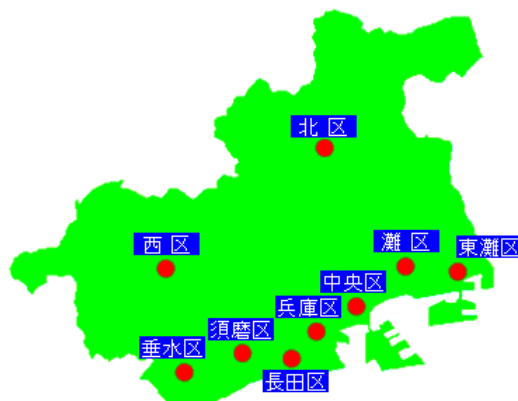
~

第 18 週 平成28年5月8日

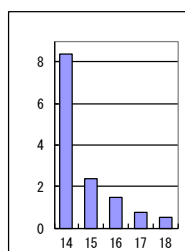
インフルエンザ



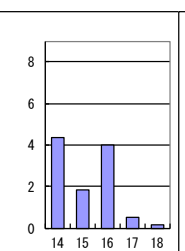
西区



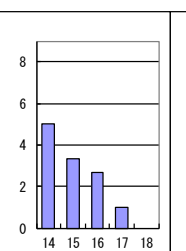
北区



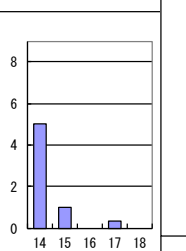
垂水区



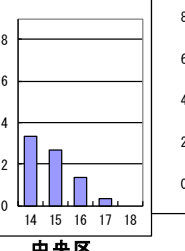
須磨区



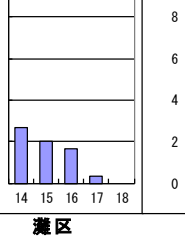
長田区



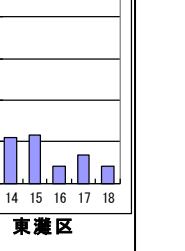
兵庫区



中央区



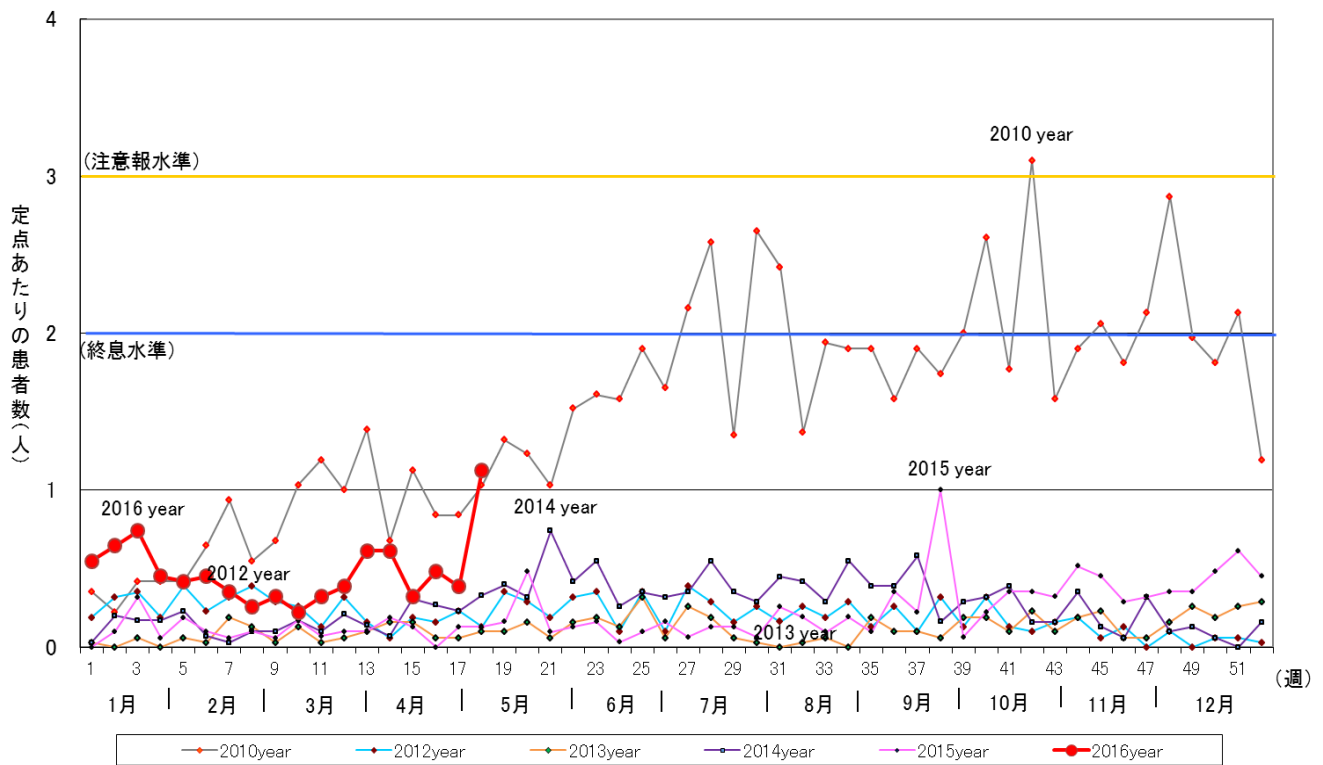
灘区



東灘区

※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



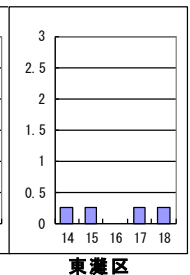
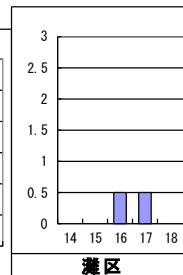
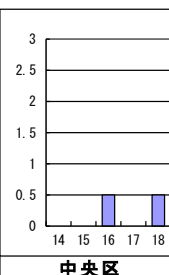
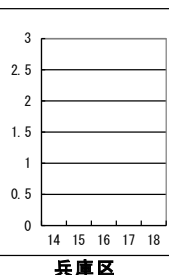
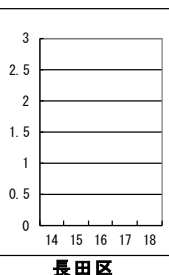
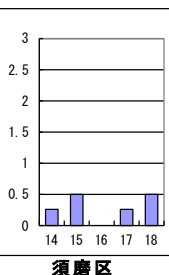
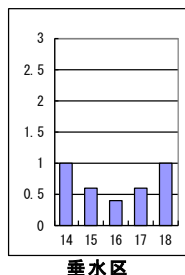
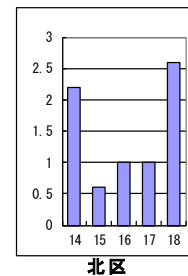
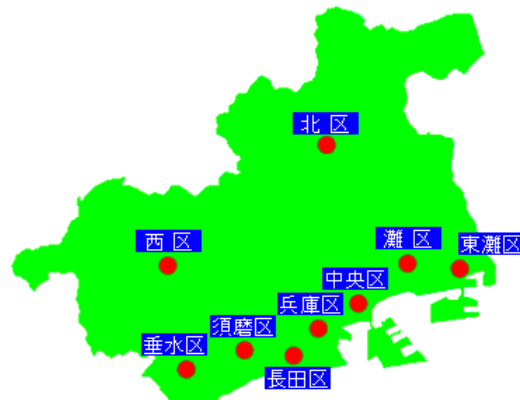
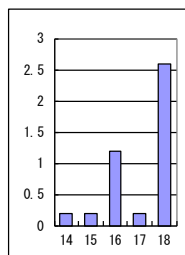
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 14 週 平成28年4月4日

～

第 18 週 平成28年5月8日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。